

2015 年 8 月 3 日

マッスルスーツ®の開発・販売を行う 株式会社イノフィスへの出資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）は、マッスルスーツ®^{*1}の開発・販売を行う株式会社イノフィス（以下「イノフィス」）に対し、今後の事業推進に必要な資金として 6.5 億円を上限とする出資を行うことを決定しました。

またイノフィスに対しては、株式会社 TUS ビジネスホールディングス^{*2}、DBJ キャピタル株式会社、三菱 UFJ キャピタル株式会社、JA 三井リース株式会社、西武しんきんキャピタル株式会社、多摩信用金庫、とうほう・次世代創業支援ファンド^{*3}、あぶくま信用金庫、株式会社大東銀行、株式会社福島銀行も出資を決定しています。

^{*1} マッスルスーツ®は株式会社イノフィスの登録商標です。

^{*2} 東京理科大学が収益事業を統括する持株会社として 2014 年 10 月 2 日に設立した企業です。

^{*3} 株式会社東邦銀行が 99%出資する投資ファンドです。

イノフィスは東京理科大学の小林宏教授が開発したマッスルスーツ®を事業化するために 2013 年に設立されたベンチャー企業です。これまで、株式会社菊池製作所の出資・経営支援を受け、マッスルスーツ®の試作・販売を行ってきましたが、この度、さらに INCJ などの出資を受け、事業基盤の強化と品揃えの拡充に取り組んでまいります。

介護や物流、農業など肉体的負荷の高い現場では、従事者の腰痛などにより恒常的な人手不足に悩まされており、特に大型の設備導入が難しい中小企業や在宅の現場において、高齢者や女性にも適用できる実用的ソリューションが求められています。近年、様々なアシストスーツの試作・実証が盛んに行われていますが、一般作業現場への導入は限定的なものに留まっています。

イノフィスの製品は、アシストスーツの中では唯一、空気圧を駆動源としており、圧縮空気の出し入れで人工筋肉を伸縮させて駆動します。その構造的な特徴から低コスト、かつパワーと安全性が担保されており、また着脱も容易であることから、幅広い用途・ユーザーで利用可能になっています。

イノフィスは、2014 年 11 月より、マッスルスーツ®の正式販売を開始しました。今後はマッスルスーツ®の改良に加え、動力が不要で強い補助力を得られるエアレスタイプ、前傾姿勢を補助するタイプ、腕の持ち上げ補助タイプなどの製品も展開していきます。

INCJ はイノフィスに対して成長資金を提供するとともに、社外取締役の派遣などを通じ、今後の事業戦略の構築および事業運営を支援していきます。INCJ は、本投資を通じて介護、医療、物流、製造業、農業などの幅広い現場でのマッスルスーツ®の普及を促し、労働力の確保と生活の質の向上に貢献します。また、INCJ はイノフィスが大学発ベンチャーの成功事例となるよう、産学官のネットワークを通じて支援していきます。

株式会社イノフィスについて

設立	2013 年 12 月
事業内容	介護福祉機器の開発、設計、製造、販売 産業用特殊機器の開発、設計、製造、販売 機器開発技術シーズの発掘および事業化コンサルティング 機器開発技術シーズの知財取得、維持、管理 製品の認証取得、維持、管理
本社所在地	東京都新宿区神楽坂四丁目 2 番地 2 号
代表取締役社長	菊池 功（きくち いさお）※
URL	http://innophys.jp/

※2015 年 8 月 6 日付で現取締役の藤本隆氏が代表取締役社長に就任する予定です

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

（本発表資料のお問い合わせ先）

（株）産業革新機構 企画調整室 畑、大森

東京都千代田区丸の内 1－4－1

丸の内永楽ビルディング 2 1 階

電 話：03－5218－7200（大代表）